

南池袋二丁目B地区 まちづくり懇談会だより(10)

平成21年
7月10日

発行 豊島区都市整備部都市再生プロジェクト担当課 03-3981-3449 (直通)

第7回全体説明会を開催。今年度の活動予定等を説明しました。

平成21年6月24日(水)午後7時から、旧日出小学校レクルームで「南池袋二丁目B地区 第7回全体説明会」を開催しました。17名の方が出席しました。

1 これまでの活動の振り返り

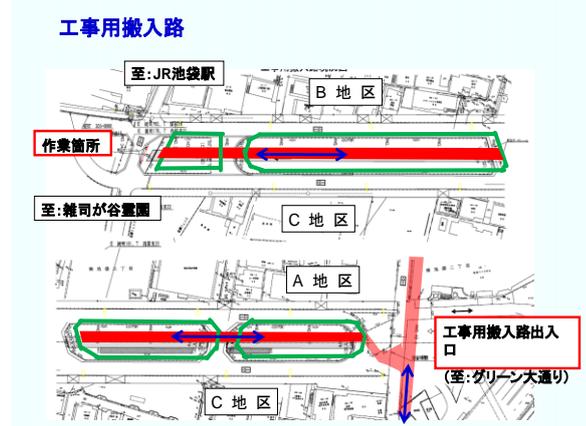
昨年1月の説明会開催時から現在に至るまでのまちづくりの活動について、「たより(9)」を読みながら振り返りました。環5の1の整備や区庁舎移転など周辺環境の変化のこと、B地区の魅力や課題、これまで話し合ってきた‘まちの将来像’のことなどを再確認しました。

2 下水道工事の説明について

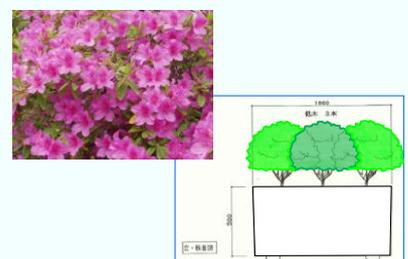
続いて、東京都下水道局から、環状5の1暫定道路を下水道工事作業で使用することについて、説明が行われました。

<説明内容>

- ◆工事目的：南池袋2、3丁目地区の雨水流出能力増強のため。
- ◆工事方法：都電荒川線雑司が谷駅の近くに作業用立坑を設置。そこから地下鉄工事と同様のシールド工法で工事を行う(右図の赤い線)。工事車両は環状5の1号線に入り、ネットフェンスで囲まれた中央の部分を通る。
- ◆工事期間：最低2年間
- ◆緑化対策：フェンス内側に大型プランターを100個設置。「オオムラサキツツジ」を植樹。工事開始前には設置予定。



【プランター(オオムラサキツツジ) イメージ図】



■下水道工事についての主な質疑応答

Q) 都電横に広い土地がある。なぜ民地側へ設置するのか？

A) 地下通過道路予定位置を避けるため。(下水道局。以下「下」。)

Q) 工事の騒音対策や安全対策は？

A) 原則、夜間土日はやらないが、土曜はやることも。安全対策として警備員を配置する。(下)

Q) B地区には、大雨がふると水がたまる箇所があるが、解消するか？

A) 新設の下水道管が完成してから、南池袋二丁目周辺区道の下水管をつなぐ。(区道沿いの)排水状況は改善されるはず。(下)

Q) フェンスにツタを絡ませて緑の面をつくるのはどうか？

A) 第四建設事務所と調整したい。(下)

3 今年度の活動予定

区では、今年度のB地区まちづくり活動予定として、下記の4つの活動を予定しています。

- ①全体説明会を定期的開催
- ②個別ヒアリングの実施
- ③グループごとの懇談会開催
- ④まちづくりの協議体の発足

今年度のスケジュール

月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~	
説明会			○		○		○				
ヒアリング	→										
懇談会	→									協議体 設立	
協議体	協議体のあり方の検討、幹事等の人選									○	

4 まちの将来イメージ等についての個別ヒアリングの実施について

今月から権利者一人ひとりに実際にお会いして、まちの将来イメージ等についてお話を伺う予定です。

詳細は、別紙「まちづくり戸別訪問（意向調査）のご案内」をご覧ください。

みなさまのご協力をお願いいたします。

■これまで／これからのまちづくり活動についての質疑応答

Q) A地区状況は？反対者がいると聞いているが、それでも区は再開発を進めるのか？

A) A地区の都市計画は、7月下旬都市計画審議会にかける予定。(区)

再開発事業は法令に基づき進めることになる。準備組合には権利者の意向をさらに丁寧に伺い、理解を得るように指導していく。(区：都市開発課の後日の回答)

Q) まず、住民が反対したのにしゃれ街をかけた。その後、都市計画マスタープランも変えてしまった。開発圧力が高く乱開発の可能性が高いというが、その原因を作ったのは区。原因となるしゃれ街をはずしてほしい。開発反対の人や静かに暮らしたい人が多い。それなのに、なぜ協議体が必要なのか？

A) いろいろなご意見はあるが、この地区のまちづくりは必要だと考えている。区が間に入って「協議の場」を作りたい。先に結論ありきではなく、アンケートに出ない全体の意見を伺いながら進めたい。(区)

Q) C地区でいくつか新築の建物が建っているようだが、区はどのような規制をしているのか？

A) 建築計画が出た時にお願いはするが、規制することは法的にできない。B地区でも同じようなことが起こりかねない。‘何もしない’という選択肢を選んで本当にいいのか、考える必要がある。(区)

Q) 区としてプランを立てないのか？素人がまちづくりプランをつくるのは無理。

A) まずは皆さんの意見を元にした案を提示するべき。そのためにも協議の場を設けたい。(区)

様々なご意見をもっている方々があり各々が納得できる方法で進めたい。多様な視点で検討したい。(コ)

Q) 地権者が100名もいるので大変と思うが、他地区の事例を参考に合意形成のプロセスを示してはどうか。

A) 先日の勉強会でコンサルタントの方をお呼びして話を聞いたが、合意形成に至るプロセスはケースバイケース。どのような方法があるか、考えさせていただきたい。(コ)

Q) B地区は範囲が広く、話したことのない人もいる。全体で話そうとすると意見がぶつかり、まとまらない。まずはもう少し小さいグループでまとまって、それからB地区でまとまっていくべきでは？

A) 小さなグループ単位でも話し合いの場を作りたい。(区)

まちづくりの個別インタビューを実施しています。ご相談やご意見を伺います。
都市再生プロジェクト担当課 03-3981-3449までご連絡ください。